



今は**大好きなまち**になりました。

何もなくてつまらないと思ってたけど、

そうかを楽しむひと

CASE.1

松村美乃里（まつむらみのり）さん

つなぐば家守舎株式会社 取締役 / デザイナー
 静岡県静岡市出身。デザイナーになるために上京、結婚を機に草加に移住。娘の誕生から暮らし方を見つめ直し、第1回リノベーションスクール@そうかを受講。欲しい暮らしは私たちでつくるをモットーに、シェアアトリエつなぐばを運営している。



我が子にとってはここが故郷 娘の誕生が私を変えた

3本並んだシンボルツリーが特徴的な八幡西公園の隣に、リノベーションまちづくりから誕生したシェアアトリエつなぐば（以下つなぐば）があります。公園とつなぐばは互いに行き来でき、まるで大きな庭のよう。自慢のウッドデッキを歩けば、ポコンポコンというかわいらしい音が出迎えてくれます。つなぐばは2018年に築30年の古いアパートをリノベーションして誕生。カフェや、子どもと一緒にいながら働けるシェアアトリエなどがあり、様々な年代や価値観の人々が集まる公民館のような場所になっています。つなぐばを運営する1人に、松村美乃里さんがいます。静岡市出身の松村さんは、大学進学とともに上京。その後、夢であったデザイナーとして、都内の会社に就職しました。

「デザイナーとして働いている時は、頑張っていないとダメな人間なんじゃないかって思って、とにかく走り続けていました。でも、忙しくて暮らしを実感できない毎日を見直したいとも思っていたんです」

仕事にやりがいや充実感を覚える一方、このままの暮らし方で良いのだろうかと疑問を感じていた松村さんは、結婚を機に退職しフリーランスという働き方を選択。その後、引っ越しを考えた時に費用や都内へのアクセスの良さから、たまたま住まいに選んだのが草加だったと言います。

しかし、故郷の静岡が大好きだった松村さんは、縁もゆかりもない土地で、友達もいなければ、楽しめる場所も知らない。“何もないまち”だと感じて当時は草加に全く愛着を持たなかったと振り返ります。

そんな松村さんに変わるきっかけをくれたのが娘のあかりさんでした。

「結婚してしばらくは子どもができなかったので、娘が生まれた時には本当にうれしくて、**自分が故郷を大好きなように、娘にも生まれ育ったまちに誇りを持ってほしい。そのためにも私自身がこのまちを好きになりたいと思ったんです**」

娘の誕生をきっかけにまちに出かけてつながりを求めるようになった松村さんは、子育てサロンで山口和美さん（6面参照）と出会いママ友に。少しずつまちに目を向けようと